



カーボンニュートラルの実現で
安心して暮らせる とちぎへ

近年、頻発・激甚化している台風や集中豪雨による災害等。これらは地球温暖化による気候変動の影響と考えられており、私たちの生活スタイルが大きく関係しています。今回は、温暖化の進行を防ぐ「カーボンニュートラル」をご紹介します。オールとちぎでカーボンニュートラルを実現し、次の世代も安心して暮らせる持続可能な「とちぎ」を創りましょう。

1 このままだと栃木県は九州地方の暑さに!?
気候変動の影響

地球温暖化が進行すると、気候変動の影響はさらに深刻化すると予測されています。それは気温の上昇だけでなく、農作物の品質の低下、大雨の頻度の増加等、私たちの生活に大きな影響を及ぼすとされています。



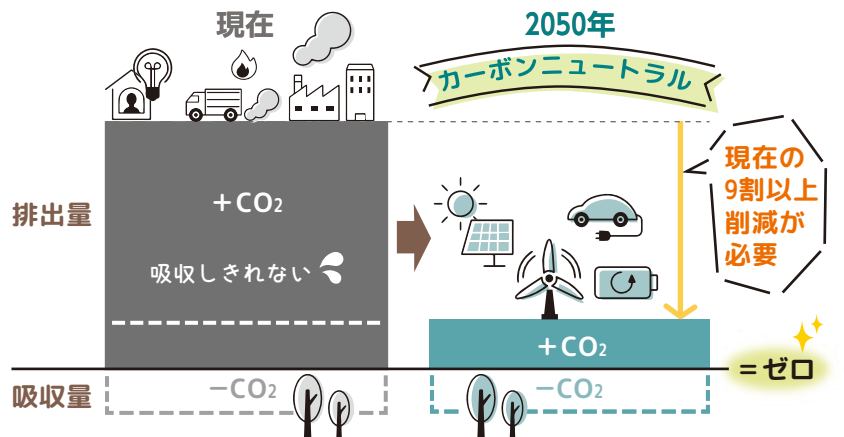
これらは、私たちの生活が化石燃料に依存し、豊かになることで、二酸化炭素(CO2)を大量に排出してきたことが要因です。

例えば、移動に便利な車は
ガソリン車が10km走行すると CO2 2kg排出
これを吸収するためには 杉の木1本で約2カ月かかる

現状では、9割以上のCO2が吸収されず大気中に残り、たまっていく一方です。温暖化を防ぐためには「カーボンニュートラル」の実現が必要です。

2 目指すは、「カーボンニュートラル」
次の世代のために

カーボンニュートラルとは、CO2などの温室効果ガスの排出量を大幅に減らすことで、温室効果ガスの排出量と、森林などの温室効果ガスの吸収量をイコールにする、つまり温室効果ガス排出量を実質的にゼロにする、ということです。県では、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しています。



この非常に高い目標を達成するためには、皆さん一人ひとりの心掛けと、オールとちぎでの取組が必要不可欠です。

3 カーボンニュートラル実現のために
ロードマップで最大の効果を

県では、具体的な取組や実施時期を示すロードマップ(行程表)を今月策定予定です。県民の皆さんと共にカーボンニュートラルの実現を目指します。

Table with 3 columns: 温室効果ガス排出量を早期に削減, エネルギーの地域内循環を実現, 脱炭素化の動きを促した県内産業の成長

Diagram showing 'ロードマップ' (Roadmap) with '重点プロジェクト' (Key Projects) and '達成までの中間目標' (Intermediate targets) such as '温室効果ガス削減 -50% (2030年)'.

Diagram showing '持続可能で力強い経済社会のとちぎ' (Sustainable and strong economy of Tochigi) with '効果' (Effects) like '自家発電なら外部に頼らず電気が使える'.

4 私たちにできること
身近なところから一歩ずつ

温室効果ガスの排出量を減らすと言っても、今の生活を極端に制限するものではありません。生活スタイルを少し変えることでも削減につながります。日々の生活を見直して、できることから実践しましょう。

Three levels of actions: 初級 (Eat appropriate amounts, reduce food waste), 中級 (Switch to energy-saving home appliances), 上級 (Install solar power equipment, switch to EVs).